

1. 右の欄を正確に記入すること。 2. 所属を○で囲むこと。 3. 前記「1, 2」を守らない答案は採点されないことがある。	試験日	情報科学部				学生番号	□□□□ - □□□□			
	所属	学部	IC	IS	IM	IN	科目等履修生	フリガナ	氏名	組
		年次	1	2	3	4				

微分方程式 中間テスト 第1回 <レポート> 解答例 (真貝)

1 (a) $\frac{dy}{dx} = \cos x$
 (b) 感染着数 x を時間 t の関数 $x(t)$ とする。
 $\frac{dx}{dt} = k$ (k : 定数)
 (c) 加速度は位置 x を時間 t で2階微分したものを表す。
 $\frac{d^2x}{dt^2} = k|x|$ (k : 定数)
 (d) 毎秒同じだけ体積が増加する。
 $\Delta V = V(r+\Delta r) - V(r)$
 $= \frac{4}{3}\pi[(r+\Delta r)^3 - r^3] \approx \frac{4}{3}\pi \cdot 3r^2 \Delta r$
 (Δr の2次以上の項を無視して)
 これより $\frac{\Delta V}{\Delta t} = k$ (一定)
 という式を考えると。
 $\frac{\Delta V}{\Delta t} = 4\pi r^2 \frac{\Delta r}{\Delta t} = k$
 可なり、 r の変化率を微分方程式と見做すと
 $\frac{dr}{dt} = \frac{k}{4\pi r^2}$ とする。

3 (a) $\frac{dy}{dx} = 4x$ C_1 を積分定数とする。
 $\therefore y = \int 4x dx = 2x^2 + C_1$
 (b) 変数分離法により
 $\int \frac{dy}{y} = \int 4x dx$ と変形すると。
 $\log|y| = 2x^2 + C$
 $\therefore y = e^{2x^2+C} = C_1 e^{2x^2}$
 (c) 変数分離法により
 $\int \frac{dy}{y} = -\int 5 dx$
 $\log|y| = -5x + C$
 $\therefore y = e^{-5x+C} = C_1 e^{-5x}$ (一般解)
 初期条件 $y(0) = 2$ を代入すると
 $2 = C_1$ とする
 $\therefore y = 2e^{-5x}$

2 (おとりこを捉える。おとりこは解かなくていい)
 $y(t) = A \sin \omega t + B \cos \omega t$
 $y'(t) = \omega A \cos \omega t - \omega B \sin \omega t$
 $y''(t) = -\omega^2 A \sin \omega t - \omega^2 B \cos \omega t$
 $= -\omega^2 y$
 $\omega = 2$ と式は示すので、

(d) 未定係数法。
 Step 1 右辺をゼロと見て同次式
 $y' + 5y = 0$
 の一般解は (c) で得られた
 $y = C e^{-5x}$ ①
 とある。
 Step 2 特解を求めよ
 $y_2 = k e^{5x}$
 を仮定し、与式に代入すると。
 $(k e^{5x})' + 5(k e^{5x}) = 10 e^{5x}$
 より $k = 1$ と決まる。
 Step 3 以上より求める一般解は
 $y = C e^{-5x} + e^{5x}$

注 意	1. 右の欄を正確に記入すること。 2. 所属を○で囲むこと。 3. 前記「1, 2」を守らない答案は採点されないことがある。	試験日	情報科学部				学生番号	□□□□ - □□□□			
		所属	学部	IC	IS	IM	IN	科目等履修生	フリガナ	氏名	組
			年次	1	2	3	4				

(e) 未定係数法
 Step 1 前問と同じ
 Step 2 特解を求めよ \leftarrow \sin, \cos を考える。
 $y_2 = A \cos x + B \sin x$
 の形を仮定して与式に代入すると。
 $(-A \cos x + B \sin x)' + 5A \cos x + 5B \sin x = 26 \sin x$
 $(-A + 5B) \sin x + (5A + B) \cos x = 26 \sin x$
 $\therefore \begin{cases} -A + 5B = 26 \\ 5A + B = 0 \end{cases}$ ②より $A = -1$
 $B = 5$
 Step 3 以上より一般解は
 $y = C e^{-5x} - \cos x + 5 \sin x$

(f) 未定係数法
 Step 1 前問と同じ
 Step 2 特解を求めよ \leftarrow ①と同じ形は x
 $y_2 = k x e^{-5x}$
 の形を仮定して与式に代入
 $(k x e^{-5x})' + 5 k x e^{-5x} = 2 e^{-5x}$
 $(k - 5 k x) e^{-5x} + 5 k x e^{-5x} = 2 e^{-5x}$
 $\therefore k = 2$
 Step 3 以上より一般解は
 $y = C e^{-5x} + 2x e^{-5x}$
 $= (2x + C) e^{-5x}$

<注> e^{5x} は与式の両辺に乘じると。
 $e^{5x}(y' + 5y) = 2$
 $\Leftrightarrow (y e^{5x})' = 2$
 積分すると $y e^{5x} = 2x + C$
 $\therefore y = (2x + C) e^{-5x}$

4 $\frac{dT}{dt} = -k(T-20)$ ①
 変数分離法により
 $\int \frac{dT}{T-20} = -\int k dt$
 $\log|T-20| = -kt + C_1$
 $\therefore T-20 = e^{-kt+C_1}$
 $\therefore T(t) = 20 + C e^{-kt}$ ②
 と一般解が求められる。
 初期条件
 $T(0) = 80 = 20 + C e^{-k \cdot 0}$ より
 $C = 60$ と決まる。 ③
 また、 $t=3$ のとき $T=60$ より ②に代入
 $60 = 20 + 60 e^{-3k}$
 $\therefore e^{-3k} = \frac{40}{60} = \frac{2}{3}$ ④
 これより k も決まる。
 結局 ②は
 $T(t) = 20 + 60 e^{-kt}$, $T=60$ のとき $e^{-kt} = \frac{2}{3}$
 求めるのは $t=6$ のとき
 $T(6) = 20 + 60 e^{-6k}$
 $= 20 + 60 (e^{-3k})^2$
 $= 20 + 60 \left(\frac{2}{3}\right)^2 = 46.67^\circ \text{C}$

所属	科	年	科目等履修生	学生番号	□□□□ - □□□□	氏名
----	---	---	--------	------	-------------	----

所属	科	年	科目等履修生	学生番号	□□□□ - □□□□	氏名
----	---	---	--------	------	-------------	----